

政 務 活 動 出 張 報 告 書

令和6年 6月10日

会 派 名 市民リベラル

代 表 者 伊藤 一之様

出張者 伊藤 一之

次のとおり、政務活動のため出張したので、その概要を報告します。

- 1 出張先 5月14日 東京都
5月15日 神奈川県 海老名市
- 2 出張日時 令和 6年 5月14日(火)～令和 6年 5月14日(木)
- 3 政務活動事項
5月14日 東京都 国土交通省要望
5月15日 海老名市 海老名市地域づくり推進補助金について
- 4 政務活動結果
別紙のとおり
- 5 費用 ￥75,330円

政務調査報告書

2024年5月14日(火)～5月15日(水)

市民リベラル 伊藤 一之

●1日目 5月14日(火)

(1)日時

2024年5月14日(火)13:30～

(2)要請箇所

東京都「国土交通省」

(3)所感

国土交通省の玄関前で佐賀県東京事務所職員と待ち合わせ、古川代議士、秘書等の案内で、添付の要請書を基に国土交通大臣、副大臣、政務官等への要請を行なった。

国土交通大臣は不在であったが、堂故茂・副大臣が在室し議長、都市整備委員長からの口頭での要請に対し、「唐津市議会としての要望はしっかりと伺った。詳細については、要請書等を熟読し要請に応えた」という答弁がありました。副大臣は次の公務が控えている中で、時間をとっていただき真摯に耳を傾けていただき有意義な要請となったと考える。

その後、担当課に要請者全員でお伺いをして口頭での要請、要請書を手渡しをした。対応いただいたのは、国土交通大臣政務官、水管理・国土保全局次長、水管理・国土保全局「治水課長」、水管理・国土保全局「水政課長」、水管理・国土保全局「河川計画課長」であった。

●2日目 5月15日(水)

(1)日時

2024年5月15日(水)9:00～

(2)視察箇所

神奈川県海老名市

(3)視察項目

海老名市市民活動推進補助金制度について

(4)所感

海老名市役所6階「第一委員会室」で予定の9時より早く研修、意見交換を開始した。議会事務局の進行で最初に海老名市議会議長・森下氏から歓迎の挨拶を受けた。

その後、担当課（市民活動推進課）から調査項目の「海老名市市民活動推進補助金制度」について説明を受けた。資料等は、他の課（商工課）が市民団体に補助している補助金についても詳しく配布された。丁寧な説明に感謝を申し上げたい。

海老名市は、相鉄線があり横浜のベッドタウンとして発展し、唐津から比べるとコンパクトな都市である。そうした特徴点もあるので、市民活動への財政も多くあり、選択肢も多いのかと感じた。また企業進出も大きく、市民団体が催す「祭り」などにも多くの協賛金が寄せられるらしい。企業誘致の重要さもそこにもあると考える。

「海老名市市民活動推進条例」を平成22年に制定し、その条例に基づいて推進をしてきた。条例9条の中で「推進委員会」を設立している。市民活動への支援の適宜などを協議している。補助団体への活動の視察審査も行なっているということであった。中身的には必要不可欠な委員会なのかなと考える。

つづいて、市民活動推進補助金について説明がされた。補助を受けられる団体の条件としては唐津市と変わらないのかと考える。補助金の制度自体は、「入門編（上限が10万円で1団体につき1回のみ）」「充実編（上限20万円で、1団体につき2回まで）」「自立編（1団体につき3回まで）」と3段階での構成になっており、よく練られたものであった。このポイントは、6年間の補助金交付で『自立する団体になって欲しい』ということだと考える。ほぼ全ての市民団体が自立して、現在も活動が続けているということであった。唐津市と条件や取り巻く環境的な違いは当然あるけれども、素晴らしい取り組みになっていると感じた。

また、市民活動推進のための2施設にも言及がされた。市民活動センター「ビナレッジ」「ビナスポ」という2施設であった。「ビナレッジ」は貸し館業務を行い、「ビナスポ」は健康増進を目的に設置されている施設。並んで建てられて、そこを中心に市民活動を推進しているということであった。コンパクトさにも惹かれた。財政的な課題もあるが、取り組み的には面白いと考えた。唐津でも生かされる部分は多いので、提言もしていきたいと考える。

以上